

<中国での活動紹介>

著しい経済発展で成長してきた中国で、生活にゆとりが生まれたことにより、数年前から収納や物の整理といった暮らし方に関心を持つ人たちが増えてきました。

そんな社会的風潮を先取りするかのように、南京市にある南京工業大学浦江学院は、日本の暮らし方・住まい方のノウハウに着目し、また就職に有利なスキルとしても捉え、当協会代表理事の近藤典子氏を客員教授に迎えました。

専攻科目として年に24講義(1講義90分)の「近藤典子の暮らし哲学」が新設されました。初年度の平成27年には150名の学生が専攻、2年目も130名が専攻科目として受講し、通訳を交えた授業を一生懸命受けています。

この様な中国の大学で日本人教授による、日本式暮らし方を学ぶ講義は初めてで、大変興味深い試みとして当協会も注目して協力しています。そして、今年は中国で初の住まい方アドバイザー初級認定者が誕生するかも知れません。



南京工業大学浦江学院
— 授業風景 —

